

平成 23 年度 広島大学大学院工学研究科 海外インターンシップ教育事業
海外共同研究（4D 型教育プログラム） 募集要項

1. 事業の概要

【海外インターンシップ教育事業について】

言語・文化・慣習等の壁を超えて日本と海外の長所を融合し、グローバル化時代の新たな問題を解決することのできる国際技術者の育成を目的とした教育事業で、平成 13 年度より開始した「ECBO プログラム」と、平成 18 年度より開始した「海外共同研究」の 2 つから構成されます。

【ECBO プログラム】

毎年約 10 名の大学院生を、海外に進出している日系企業へ 4 週間程度派遣し、インターンシップを実施します。

【海外共同研究】

毎年約 10 名の大学院生を、広島大学海外交流協定校へ 4 週間程度派遣し、共同研究を実施します。

派遣された学生に対しては、単位認定（1 単位）を行います。

両プログラムとも、現地研修だけでなく、事前研修（英語学習・事例研究）と事後研修（PBL 教育）を組み合わせ実施します。

【海外共同研究の目的】

国際化の促進並びに国際感覚を持った優秀な学生の育成のため、学生を海外の交流協定校に派遣します。「海外共同研究」に参加することにより、国際環境の中で自己のテーマをさらに広く高い視野から見つめると同時に、相手校との共同研究を実施し自信を深め、グローバルな環境の中で研究のあり方を習得する機会とします。

学生の研修経験をより実効性の高いものとするため、派遣前に英語によるコミュニケーション力向上のための特別指導などにより十分な事前研修を実施します。現地研修終了後は、現地で得られた成果を踏まえて研究を継続します。

研修修了者には、工学研究科共通科目「海外共同研究Ⅰ」の単位認定（1 単位）を行います。また、優秀な研究成果が得られ、学生が希望する場合には翌年度に 2 回目の派遣を行い、「海外共同研究Ⅱ」の単位認定（1 単位）を行います。

2. 応募資格

以下のすべてに該当する者を応募の対象とします。

- (1) 工学研究科の大学院生であること。
- (2) 人格に優れ、心身ともに健全であること。
- (3) 現地研修を遂行するうえで必要な英語能力を有していること。

3. 派遣先ならびに派遣予定人数

以下の海外交流協定校へ、学生を派遣することを予定しています。

【研修テーマと派遣人数（平成 23 年 2 月 8 日現在）】

派遣先 海外交流協定校	派遣 人数	現地研修テーマ	担当教員 (所属専攻)
アルバータ大学 (カナダ)	1	耐高温材料の割れ評価と補修技術の開発	篠崎 賢二 山本 元道 (機械物理工学)
チュラロンコン大学 (タイ)	2	タイのバイオマスの有効利用に関する研究	松村 幸彦 (機械物理工学)
ペトロナス工科大学 (マレーシア)	2	マレーシアのバイオマスの有効利用に関する研究	松村 幸彦 (機械物理工学)
西安交通大学 (中国)	1	ディーゼル噴霧のレーザ計測と CFD 計算による現象解明	西田 恵哉 (機械物理工学)
大連理工大学 (中国)	1	直噴ガソリン噴霧の点火と燃焼過程	西田 恵哉 (機械物理工学)

上海交通大学（中国）	1	バイオ燃料噴霧特性の燃料加熱による制御	西田 恵哉 （機械物理工学）
釜山大学校（韓国）	1	ブートストラップ法の適用可能性並びに有効性についての検討	土肥 正 （情報工学）
釜慶大学校（韓国）	1	各種試験による超軟弱粘土の強度変形特性とそのモデル化に関する研究	土田 孝 （社会基盤環境工学）
釜慶大学校環境海洋大学（韓国）	1	韓国竜院湾奥部海域（釜山新港）に適した底質環境改善法に関する研究	日比野 忠史 （社会基盤環境工学）
国家海洋局第二海洋研究所（中国）	1～2	杭州湾・銭塘江に発生するタイダル・ボア（段波）の伝播過程に関する調査研究	金子 新 （輸送・環境システム）
上海交通大学（中国）	1	中国の都市における都市ヒートアイランドの現状分析、および、その緩和を目的とした都市計画手法に関する研究	田中 貴宏 （建築学）

4. 研修内容について

海外交流協定校で、一定の責任をもちつつ、共同研究を遂行する。共同研究の内容は、派遣先の教員・指導教員との事前相談を行ったうえで定める。研修生は、事前・事後研修を受け、スムーズなプログラム遂行を図るとともに、成果をより確実なものとする。

区分	課題内容
事前研修	<ul style="list-style-type: none"> 本プログラムの趣旨理解と準備教育 国際環境、研修実施国の国情、経済、市民生活などに関する一般的学习 共同研究遂行のための事前準備（派遣先の教員・指導教員との事前相談等） 外国語教育研究センターが開催する英語研修プログラム「Power point Oral Presentations in English」の受講（必修） 「e-learning Newton TLT（完全習熟トレーニング専用プログラム）」による英語学習（必修） 「安全教育（リスク管理セミナー）」の受講（必修） 「派遣前最終報告会」での発表（必修） その他、必要に応じて求められた課題等
現地研修	<p>【現地研修の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 派遣先の教員・指導教員との事前相談において決定した研究計画に基づき、共同研究を遂行する。 現地研修の成果は、中間・最終発表を通じて、派遣先の教員・指導教員の前で報告を行う。 <p>【研修期間】</p> <p>平成23年8月下旬から9月下旬までの4週間程度。ただし、研修先の都合により変更になることもある。</p>
事後研修	<ul style="list-style-type: none"> 「帰国報告書」の提出（必修） 現地研修の成果を踏まえた研究の継続 「最終報告会」での発表（必修） 「最終報告書」の作成・提出（必修） その他、必要に応じて求められた課題等

※研修課題については、授業等の開講状況により変更となる場合があります。

5. 応募手続について

【応募申請書類受付期間】

平成23年4月11日（月）から平成23年4月15日（金）17時まで（必着のこと）

【応募申請書類提出先】

広島大学大学院工学研究科学生支援グループ（国際事業担当）

〒739-8527 広島県東広島市鏡山一丁目4-1

Tel 082-424-4361,3503 Fax 082-424-5461

E-mail kou-gaku-daigakuin@office.hiroshima-u.ac.jp

【応募書類等】

・応募申請書	所定の様式を使用してください。
・志望理由書	所定の様式を使用してください。
・TOEIC®スコア証明書（写し）	最新の TOEIC®スコアを提出してください。 ※現地研修開始までに TOEIC®500 点以上を取得することを派遣の条件とします。

6. 派遣学生選考方法について

派遣学生の選考は、第1次選考と最終選考に分けて実施します。

【第1次選考】

第1次選考は、応募学生全員に対し、書類審査（志望理由書）を実施し、採点結果に基づき選考します。

第1次選考結果通知日：平成23年4月27日（水）

※応募学生全員に対し、メールにて通知します。

【最終選考】

最終選考は、第1次選考の合格者に対して実施する「個人面接」と「英語プレゼンテーション」の採点結果に加えて、書類審査（志望理由書）の採点結果、TOEIC®スコア（500点以上を派遣の条件とします。）ならびに事前研修への取り組み状況を考慮して、総合的に選考します。

試験実施日時ならびに試験内容：

日時	試験内容
6月2日（木）	個人面接： 志望動機、派遣に対する意欲、派遣に向けての準備状況等に関する試問を行います。
6月3日（金）	英語プレゼンテーション： 英語によるプレゼンテーションならびに質疑応答を行います。 ※プレゼンテーションの内容については、別途お知らせします。

最終選考結果通知日：平成23年6月10日（金）

※最終選考受験学生全員に対し、メールにて通知します。

7. 平成23年度 説明会・選考会等実施スケジュール

平成23年度の実施スケジュールを以下に示します。

日時	項目
3月2日（水）	平成22年度派遣学生 最終報告会： ※前年度派遣学生の研修内容を知る機会となりますので、可能な限り出席してください。
4月8日（金）	応募希望者向け説明会： プログラムの概要と、応募にあたっての注意事項の説明を行います。
4月11日（月） ～ 4月15日（金）	応募受付期間： 応募希望者は、所定の書類を工学研究科学生支援グループ（国際事業担当）あてに提出してください。
4月27日（水）	第1次選考結果通知
5月13日（金）	派遣候補学生説明会： 第1次選考合格者を対象に、以下の説明を行います。 ・最終選考（個人面接・英語プレゼンテーション）について。 ・事前研修（英語 e-learning 等）の受講について。
6月2日（木）	最終選考会（個人面接）
6月3日（金）	最終選考会（英語プレゼンテーション）
6月10日（金）	最終選考結果通知
6月24日（金）	派遣説明会： 最終選考合格者を対象に、以下の説明を行います。 ・派遣にあたっての各種注意事項について ・海外旅行障害保険への加入について ・派遣前最終報告会について
6月下旬（予定）	安全教育（リスク管理セミナー）：

	詳細な開催日時・場所等については、決定次第別途お知らせします。
8月上旬（予定）	派遣前最終報告会： ※派遣開始時期が早い者については、前もって実施します。
8月下旬～ 9月下旬	現地研修（4週間程度）
10月～	事後研修開始
3月上旬（予定）	最終報告会

※日程等については、都合により変更となる場合があります。

8. 経費負担

学生派遣に必要な経費（交通費・宿泊費・海外旅行障害保険等）については、5万円を学生の自己負担とし、残りについては工学研究科（または受入れ機関）が負担します。

9. 傷害保険等への加入について

応募学生には不測の時代に備え、「学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）」ならびに「学研災付帯賠償責任保険（略称「学研賠」）」への加入を義務づけています。また、最終選考に合格した派遣学生には、上記に加えて「海外旅行傷害保険」への加入を義務づけております。

10. その他注意事項

- ・派遣先の諸規則、及び受入れ担当者の指示・命令を遵守すること。
- ・派遣先の担当者が、正当な理由から研修を続行することができないと判断した場合には、広島大学の担当教員と協議のうえ、研修の中止ならびに途中帰国を指示することがある。
- ・現地の治安情勢に十分注意し、責任ある行動を取ること。
- ・派遣国・地域等の治安状況等により、派遣先における安全が確保できないと判断した場合には、派遣の中止あるいは途中帰国を指示することがある。

11. 問い合わせ先

広島大学大学院工学研究科 准教授 西田恵哉

Tel: 082-424-7562

E-mail: nishida@mec.hiroshima-u.ac.jp

広島大学大学院工学研究科学生支援グループ（国際事業担当）

〒739-8527 広島県東広島市鏡山一丁目 4-1

Tel: 082-424-4361,3503 Fax: 082-424-5461

E-mail: kou-gaku-daigakuin@office.hiroshima-u.ac.jp

ホームページ：

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/eng/IAS-J/internship/index.html>